

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	皮膚悪性腫瘍	
	タイプ	メラノーマ	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Diagnostic accuracy of dermoscopy	
	論文の日本語タイトル	ダーモスコピーの診断学的正確性	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称		
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（I）	
	Pubmed ID	11902502	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Lancet Oncol	
	雑誌 ID		
	巻	3	
	号	3	
	ページ	159-65	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2002 Mar	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Kittler H	Dept. of Dermatology, University of Vienna Medical School, Austria
	その他著者 1	Pehamberger H	同上
	その他著者 2	Wolff K	同上
	その他著者 3	Binder M	同上
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	メラノーマ診断におけるダーモスコピーの有用性を文献的に検討する
	データソース	1987~2000年に出版された文献をMEDLINEなどで検索。
	研究の選択	収集した157文献のうちオリジナルデータの記載がないものなどを除外し、適合する27研究を選択した。オリジナルデータの記載がないもの、メラノーマ診断と無関係のものなどを除外。
	データ抽出	不明
	主な結果	<p>1) 全対象病巣数は9821であり、その内でメラノーマが占める率は1.6%~60.8%に分布した。メラノーマのtumor thicknessの平均は0.70mm(0.40~1.11)であった。</p> <p>2) ダーモスコピー併用の有無による診断精度の比較は、それを直接記載してある13文献を検討すると、ダーモスコピーを用いた方が有意に精度が高まることが示された。平均ログオッズ比がダーモスコピー有りで4.0(95%CI: 3.0-5.1)、ダーモスコピー無しで2.7(1.9-3.4) (P=0.001)。</p> <p>3) 診断手法の比較などを行った文献も含めた全27文献からの検討でも、ダーモスコピーを用いた方が診断精度が有意に高いことが示された (mean log odds ratio: 3.4 対 2.5)。ダーモスコピーの初心者よりも熟練の方が有意に診断精度が高いことも示された (平均ログオッズ比: 3.8 対 2.0) (P=0.001)。</p> <p>4) 初心者ではダーモスコピーを用いても有意差が出ない (mean log odds ratio: 2.5 対 2.0)。</p>
	結論	ダーモスコピーは、習熟した者が用いれば、メラノーマ診断の精度を有意に向上させる。
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	斎田俊明
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (I) ダーモスコピーのメラノーマ診断における意義がメタアナリシスによって確認された (初心者は除く)。